



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月13日

上場会社名 トレックス・セミコンダクター株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6616 URL https://www.torex.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 芝宮 孝司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部 本部長 (氏名) 日笠 基 TEL 03-6222-2852  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,331	△17.1	330	△75.6	278	△84.0	157	△83.7
2019年3月期第2四半期	12,469	5.6	1,351	23.9	1,742	57.4	965	92.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 60百万円(△95.2%) 2019年3月期第2四半期 1,266百万円(68.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	14.27	14.25
2019年3月期第2四半期	89.09	88.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	26,393	18,839	71.4	1,729.01
2019年3月期	28,385	19,638	69.0	1,717.90

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 18,839百万円 2019年3月期 19,594百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	△7.9	850	△45.2	800	△56.0	550	△47.6	50.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	11,554,200株	2019年3月期	11,554,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	658,048株	2019年3月期	148,248株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	11,053,314株	2019年3月期2Q	10,835,914株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 決算説明会資料の入手方法

当社は2019年11月15日（金）に第2四半期決算説明会（機関投資家・アナリスト向け）を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかにTDnet及び当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や、英国のEU離脱問題、中東・アジア地域における地政学的リスクへの懸念拡大などにより、減速傾向となりました。

わが国経済においては、個人消費は底堅く推移しているものの、輸出や生産を中心に弱さが続き、先行き不透明感が強く残っております。

このような環境のなかで、当社グループは、経営理念にある「市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献する」ため、電気機器の小型化・省電力化に「電源」の観点から取組み、収益力の強化と持続的な成長の実現に向けて、以下の諸施策を継続的に推進してまいりました。

- ・当社東京技術センター、関西技術センター及び米国R&Dセンターにおいて、差別化のできる高付加価値な汎用製品及びターゲット市場として注力する車載機器・産業機器に向け、より特化した特長ある製品を迅速に市場へ投入していくため開発活動を進めてまいりました。
- ・製品企画段階からのコスト分析の徹底、生産計画の効率化を進めるとともに、グループ内の製造子会社との協力体制を深め、同業他社に比して競争力のある製造コストと納期対応の実現に取り組みました。
- ・IoT機器、産業機器、自動車産業など様々な分野の市場要求にマッチした製品をタイムリーに市場に届けていくために、製品開発の迅速化と製品ラインナップの拡大に向けた開発基盤の強化をすることを目的とし、インドアナログ半導体製品開発ファブレスメーカー Cirel Systems Pvt. Ltd. (Kundalahalli, Bangalore, INDIA) と資本提携の基本合意をいたしました。
- ・IoT、ウェアラブルデバイス、エナジーハーベストでの市場拡大に向け、熱電製品メーカーMATRIX Industries, Inc. (Menlo Park, Calif. USA) とセンサーのエナジーハーベストラランスデザインを含むソリューションの共同開発を目的とし、バッテリーレスおよび低電力アプリケーション向けの革新的な製品をラインナップすることを目指し、マーケティング、製品開発の事業協力関係を築くこととしました。
- ・地域に密着した営業体制を進め、海外販売子会社における営業・技術サポート担当者の充実を図り、顧客の要望や製品企画への迅速な対応と営業基盤のより一層の強化に努めました。
- ・関西技術センターの解析力を活用するとともに、協力工場との一層の関係強化を進め、産業機器や車載製品等のターゲット市場を意識した品質保証体制と各種認定制度への対応を図りました。
- ・グループ収益の最大化につなげるため、フェニテックセミコンダクター株式会社とのシナジー効果を高め、共同プロジェクトを推進しました。
- ・製品の長期・安定供給体制と競争力のある製品づくり及び生産性向上のため、フェニテックセミコンダクター株式会社本社工場の第一工場への統合を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高103億31百万円（前年同期比17.1%減）、営業利益3億30百万円（前年同期比75.6%減）、経常利益2億78百万円（前年同期比84.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億57百万円（前年同期比83.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①日本

当第2四半期連結累計期間における売上高は、主に産業機器、家電分野向けの売上が減少したことにより、68億63百万円（前年同期比22.4%減）となりました。

## ②アジア

当第2四半期連結累計期間における売上高は、主に産業機器分野向けの売上が減少しましたが、車載分野向けの売上が増加したことにより、28億51百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

## ③欧州

当第2四半期連結累計期間における売上高は、主に家電分野向けの売上が減少したことにより、3億47百万円（前年同期比22.7%減）となりました。

## ④北米

当第2四半期連結累計期間における売上高は、主に産業機器等の分野向けの売上が減少したことにより、2億68百万円（前年同期比22.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は180億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億48百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が18億43百万円減少したことによるものであります。固定資産は83億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億43百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が1億43百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産が263億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億91百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は53億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億54百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が2億13百万円、1年内返済予定の長期借入金が2億2百万円減少したことによるものであります。固定負債は21億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億39百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が3億50百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計が75億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億93百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は188億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億98百万円減少いたしました。これは主に自己株式が5億91百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.4%（前連結会計年度末は69.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び今後の動向を踏まえ、2019年5月14日の「2019年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途開示いたします「2020年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,982,083	9,139,037
受取手形及び売掛金	4,016,502	3,720,774
たな卸資産	4,601,888	4,798,787
その他	308,789	401,474
貸倒引当金	△2,604	△1,583
流動資産合計	19,906,658	18,058,489
固定資産		
有形固定資産	6,249,033	6,106,003
無形固定資産	456,767	506,899
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	—	2,070
その他	1,799,591	1,745,837
貸倒引当金	△26,396	△25,459
投資その他の資産合計	1,773,195	1,722,448
固定資産合計	8,478,995	8,335,350
資産合計	28,385,653	26,393,840
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	909,520	946,384
短期借入金	1,902,775	1,902,675
1年内返済予定の長期借入金	1,021,033	818,782
未払法人税等	326,813	113,614
賞与引当金	388,064	376,535
損害補償損失引当金	—	50,000
その他	1,662,337	1,148,411
流動負債合計	6,210,544	5,356,403
固定負債		
長期借入金	1,747,536	1,397,500
退職給付に係る負債	414,156	402,791
株式給付引当金	33,566	42,002
その他	341,753	355,511
固定負債合計	2,537,012	2,197,805
負債合計	8,747,556	7,554,208
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,967,934	2,967,934
資本剰余金	8,302,952	8,307,490
利益剰余金	8,606,806	8,535,434
自己株式	△206,316	△798,002
株主資本合計	19,671,377	19,012,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△87,404	△105,809
為替換算調整勘定	74,061	△8,020
退職給付に係る調整累計額	△63,720	△59,395
その他の包括利益累計額合計	△77,063	△173,225
非支配株主持分	43,783	—
純資産合計	19,638,097	18,839,631
負債純資産合計	28,385,653	26,393,840

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	12,469,504	10,331,365
売上原価	8,656,019	7,640,106
売上総利益	3,813,485	2,691,258
販売費及び一般管理費	2,462,018	2,361,007
営業利益	1,351,466	330,251
営業外収益		
受取利息及び配当金	15,513	14,030
為替差益	366,407	—
ロイヤリティ収入	5,508	4,152
受取賃貸料	14,167	13,632
その他	13,619	4,888
営業外収益合計	415,217	36,702
営業外費用		
支払利息	15,750	12,420
為替差損	—	62,582
支払手数料	4,000	4,000
その他	4,007	9,085
営業外費用合計	23,757	88,088
経常利益	1,742,926	278,866
特別利益		
固定資産売却益	1,631	—
受取保険金	2,255	2,600
保険解約返戻金	—	2,988
その他	400	—
特別利益合計	4,286	5,589
特別損失		
固定資産除売却損	12,000	2,368
損害補償損失引当金繰入額	—	50,000
その他	66	—
特別損失合計	12,067	52,368
税金等調整前四半期純利益	1,735,146	232,086
法人税等	522,634	74,531
四半期純利益	1,212,511	157,555
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	247,179	△192
親会社株主に帰属する四半期純利益	965,331	157,747

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,212,511	157,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,307	△18,404
為替換算調整勘定	101,438	△83,298
退職給付に係る調整額	△4,465	4,325
その他の包括利益合計	53,664	△97,378
四半期包括利益	1,266,175	60,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,028,422	61,585
非支配株主に係る四半期包括利益	237,753	△1,408



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,735,146	232,086
減価償却費	434,231	621,824
固定資産除売却損益 (△は益)	10,369	2,368
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△824
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,676	△10,668
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△51,643	△2,070
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21,375	△11,365
損害補償損失引当金の増減額 (△は減少)	—	50,000
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	9,501	8,436
受取利息及び受取配当金	△15,513	△14,030
受取保険金	—	△2,600
支払利息	15,750	12,420
為替差損益 (△は益)	△182,524	152,727
売上債権の増減額 (△は増加)	△160,616	198,362
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△477,233	△208,307
仕入債務の増減額 (△は減少)	△45,189	24,723
その他	△134,149	△302,321
小計	1,170,178	750,761
利息及び配当金の受取額	15,431	14,030
利息の支払額	△13,967	△12,788
保険金の受取額	—	2,600
保険解約返戻金	—	2,988
法人税等の支払額	△233,360	△294,509
営業活動によるキャッシュ・フロー	938,280	463,082
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△101	△32,790
有価証券の取得による支出	△100,000	—
投資有価証券の取得による支出	△1,985	△1,703
有価証券の償還による収入	200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,289,740	△458,425
有形固定資産の売却による収入	1,631	—
無形固定資産の取得による支出	△89,063	△189,866
敷金及び保証金の差入による支出	△150	△1,615
敷金及び保証金の回収による収入	2	602
その他	△17,960	△21,706
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,297,367	△705,504
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△380,000	—
長期借入れによる収入	1,500,000	—
長期借入金の返済による支出	△623,752	△552,287
自己株式の取得による支出	—	△598,999
自己株式の処分による収入	112	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△44,744
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	2,441	—
リース債務の返済による支出	△23,729	△23,845
配当金の支払額	△195,065	△228,865
非支配株主への配当金の支払額	△48,907	—
その他	△18,080	△13,937
財務活動によるキャッシュ・フロー	213,019	△1,462,677
現金及び現金同等物に係る換算差額	205,264	△168,860
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	59,197	△1,873,961
現金及び現金同等物の期首残高	12,280,333	10,883,205
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,339,531	9,009,244

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年3月5日開催の取締役会決議に基づき、自己株式509,800株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が591,686千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が798,002千円となっております。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(以下、IFRS第16号)を適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

本基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	8,846,073	2,826,908	449,123	347,399	12,469,504	—	12,469,504
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,184,458	185,526	17,976	18,997	3,406,959	△3,406,959	—
計	12,030,531	3,012,435	467,099	366,396	15,876,463	△3,406,959	12,469,504
セグメント利益	1,248,895	69,368	33,125	20,535	1,371,924	△20,457	1,351,466

(注)1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△20,457千円には、セグメント間取引消去△20,457千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	9,511,268	1,686,775	747,392	524,067	12,469,504

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	6,863,481	2,851,979	347,055	268,849	10,331,365	—	10,331,365
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,028,244	186,706	15,726	18,399	3,249,077	△3,249,077	—
計	9,891,725	3,038,686	362,782	287,249	13,580,443	△3,249,077	10,331,365
セグメント利益又は損失(△)	233,647	63,125	6,456	△898	302,331	27,920	330,251

(注)1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額27,920千円には、セグメント間取引消去27,920千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	7,520,392	1,725,359	633,522	452,091	10,331,365